



久しぶりに中里の花が咲きます。

地元の藤原小学校の6年生が地域学習として中里地区の歴史を学ぶために郷土資料館を訪ねてくれました。中里小学校の歴史について当時の二人の先生からお話を聞くことになりました。かつての中里小学校は、花づくりがもとになって子どもどうし、児童と教師、学校と家庭、そして地域の人々が深く結びついていました。子どもたちの学習も、算数で種の数数を数えながら十進法を学び、花の発芽率をもとに確立について学習をしたり、丸い花壇の図案を考えるなかで色の三原色の授業が行われていました。花づくりがもとになって人づくり、地域づくりが広がっていました。

郷土資料館が中里に移転してからは、地域のボランティアの方々のお力を借りてパンジーやマリーゴールドなどの花壇の手入れを進めて、染物に使う「藍」の栽培へとつなげてきました。今回は藤原小学校の中里地区や有志の子どもさんと保護者の皆さんが「中里の花壇を復活させよう」ということで集まっていただきました。6年生が前に立ってみなさんをリードしてたくさんの花が植えられ、丸いメイン花壇のデザインも考えて植えられ、4色の花が咲きそろそろ春が楽しみです。

いろいろなことがきっかけとなって郷土資料館を訪ねていただくことで人と人とのつながりが深まっていくことを目指していきたいと思うイベントとなりました。



1月のイベントのご案内

1月12日（日） 「肥後守（最も簡単なナイフ）で遊んでみませんか！」

昭和の子どもたちのように、手で鉛筆を削ることや竹とんぼやお箸を作って楽しむ体験教室です。すこし前の子どもたちは自分で作ったおもちゃで遊んでいました。まだ参加して頂く人数に余裕があります。当日、見学だけでも歓迎です。

1月中旬から3月 新春の企画展として「印刷」に関わる資料を見ていただきます。江戸時代の浮世絵のような木版による印刷技術から現代の広報誌「Link：リンク」が作られる最新の印刷技術まで、時代ごとの印刷方法と印刷物をご紹介します。お楽しみに。

